

研究課題名	内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌の長期予後に関する多施設共同後向き観察研究
研究の意義・目的	<p>概要：内視鏡切除後粘膜筋板（pT1a-MM）；粘膜内にとどまり、かつ脈管侵襲陰性；血管、リンパ管へ癌がはいっていない、食道扁平上皮癌患者の方は、内視鏡切除後に経過観察されることが多いのですが、中には経過観察中に再発を来す方もおられ、その正確な頻度についてはわかっておりません。</p> <p>目的：内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌の長期予後を明らかにすることです。</p> <p>今後の治療方針決定の根拠になる可能性があります。</p>
研究を行う期間	承認後～2022年12月08日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2008年～2015年に大阪市立大学医学部附属病院の消化器内科で、食道扁平上皮癌に対して内視鏡的切除を施行し、病理組織学的評価で粘膜筋板（pT1a-MM）かつ脈管侵襲陰性と診断された患者さんが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>情報：診療録、内視鏡画像・所見記録、手術記録、病理所見(プレパラートも含む)等</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は多施設共同研究であり、国立がん研究センター東病院に診療情報やプレパラートの提供を行います。
この研究を行っている共同研究機関	<p>国立がん研究センター東病院 矢野 友規</p> <p>横浜市立大学大学 藤井 誠志</p> <p>全国の JCOG 消化器内視鏡グループ参加病院 47 施設</p> <p>ホームページ <a href="http://www.jcog.jp/basic/partner/group/mem_giesg.htm">http://www.jcog.jp/basic/partner/group/mem_giesg.htm</a></p>
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 永見康明
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学</p> <p>(担当者氏名) 永見 康明</p> <p>電話番号：06-6645-2316</p>